

## 公立学校共済組合 新たに5校に設置 教職員の働き方改革のための「マザーズルーム」

公立学校共済組合(丸山洋司理事長)で調査研究事業として実施している「教職員の働き方改革のためのマザーズルーム等の設置に対する支援事業」。これを活用して、新たに5校に「マザーズルーム・リフレッシュスペース」が設置された。

1月5日に石川県立金沢錦丘中学校に、1月19日に広島県廿日市市立原小学校に、2月1日に東京都世田谷区立八幡小学校に、2月

16日には広島県府中市立府中中学園および福岡県北九州市立ひびきの小学校にそれぞれ設置された。

同事業は、教職員の職場環境の改善に向けた取り組みの推進を図ることと、共済事業を効果的・効率的に展開していくための取り組みのヒントを得ることを目的とし、具体的には、公立学校共済組合が指定した教育委員会が実施する教職員の健康維持のためのマザーズ



世田谷区立八幡小学校の「TAR」。(TARは「やはたのしい たたみ ルーム」の略で、この部屋の愛称)



北九州市立ひびきの小学校のリフレッシュルーム

ズルームやリフレッシュスペースの設置に付随する備品購入費用の一部(一つの教育委員会に対して50万円を上限)を措置する。また、当該マザーズルーム等において共済事業等の情報提供を行い、これらの取り組みに係る効果検証を実施する。

今後、さらに5校程度で設置される予定。

## 「ブンラク・1stセッション」

### 国立劇場、文楽の新たな挑戦

国立劇場主催3月文楽入門公演「ブンラク・ファースト・セッション」が3月23日、有楽町よみうりホールで開幕した。

同公演の大きな特徴は、通常使用される大道具に代えて、背景としてアニメーション映像を投影するもので、伝統芸能上演の新たな試みだ。背景アニメーションの原画は、「となりのトトロ」「もののけ姫」などの作品で美術を担当した男鹿和雄氏によるもの。演出は文楽を代表する作品の一つ「曾根崎



BUNRAKU  
1st SESSION

3.23.29  
YURAKUCHO YOMIURI HALL

国立劇場

## 英語解説付きの公演

### 「NIHONBUYO」魅力発見

国立劇場主催3月舞踊公演「Discover NIHONBUYO」が3月24日、東京都内の国立能楽堂で行われた。同公演は、日本の伝統芸能の魅力を伝える「Discover」シリーズの一つで、歌舞伎、文楽、能楽は過去に行われているが、日本舞踊は初めて。

英語を交えた解説は、留学経験もある舞踊家の西川箕乃助氏が担当し、日本舞踊の魅力を丁寧に伝えたのち、「連獅子」ほか名作3演目を上演した。

心中「天神森の段」。主人公のお初と徳兵衛が死に場所を求めて歩みを進める。道行の場面で、作者近松門左衛門の「この世の名残、夜も名残」という名文から始まる名シーンとして知られる。二次元と三次元が融合する新感覚の劇空間で観客を魅了した。29日まで上演中。

なお、国立劇場では映像制作のためクラウドファンディングで資金を募り、900万円もの支援を集めた。全国各地や海外での公演も予定されている。